FAC｜機能的歩行分類

採点基準と当日の評価 / A4・印刷して手書き

氏名・ID：_____ 評価日時：_____

診断名：_____ 評価者：_____

杖・歩行器：_____ 装具・靴：_____

FAC： 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ／ 未実施・判定保留

該当区分に○。未実施・判定保留はFACの正式な点数ではありません。

0 歩行不能／2人以上の介助

歩行できない、または歩行に2人以上の介助を必要とする。

1 持続的な体重支持が必要

1人の持続的な身体介助が必要。バランス・協調の補助に加え、体重を支える。

2 軽い身体接触が必要

1人がバランス・協調を助ける。接触は持続的または間欠的で、体重支持は不要。

3 見守り・声かけが必要

平地を身体接触なしで歩けるが、安全のための待機・見守り、または言語指示が必要。

4 平地で自立

平地は他者の介助・見守りなしで歩ける。階段・坂・不整地では見守りや介助が必要。

5 平地以外でも自立

平地に加え、階段・坂・不整地でも他者の介助・見守りなしで歩ける。

判定の要点

1と2：体重支持の有無。2と3：必要な身体接触の有無。3と4：平地で見守りが必要か。4と5：平地以外でも自立か。杖・装具の使用だけで減点しません。

観察：平地____m ／ 方向転換_____ ／ 階段・坂・不整地_____

必要な介助（人数・部位・頻度・声かけ）：_____

未確認の環境・中止／保留理由：_____

安全確保を優先。介助を外して転倒を試さない。安全上評価できなければ理由を記録し、0と混同しない。説明は原資料を要約したもので、公式日本語版ではありません。

出典：Holden et al. 1984, doi:10.1093/ptj/64.1.35 ／ Mehrholz et al. 2007, doi:10.1016/j.apmr.2007.06.764

FAC｜機能的歩行分類

経過比較と申し送り / 点数と評価条件を一緒に残す

氏名・ID：_____

1 評価日・時刻：_____ 評価者：_____

FAC：0・1・2・3・4・5 ／ 未実施・判定保留　平地歩行距離：_____m

杖・装具・靴／環境：_____

身体介助・見守りの具体像：_____

階段・坂・不整地（結果／未確認）：_____

疲労・痛み・中止理由／前回との差：_____

2 評価日・時刻：_____ 評価者：_____

FAC：0・1・2・3・4・5 ／ 未実施・判定保留　平地歩行距離：_____m

杖・装具・靴／環境：_____

身体介助・見守りの具体像：_____

階段・坂・不整地（結果／未確認）：_____

疲労・痛み・中止理由／前回との差：_____

3 評価日・時刻：_____ 評価者：_____

FAC：0・1・2・3・4・5 ／ 未実施・判定保留　平地歩行距離：_____m

杖・装具・靴／環境：_____

身体介助・見守りの具体像：_____

階段・坂・不整地（結果／未確認）：_____

疲労・痛み・中止理由／前回との差：_____

チームで共有すること

病棟・自宅での移動方法：_____

次に確認する課題／再評価予定：_____

記載例：FAC 3。T字杖・短下肢装具使用。平地20mは身体接触なし。方向転換時に安全のため声かけ・近接見守りが必要。階段は未確認。

FACは順序尺度。1段階の変化を同じ改善量と解釈しない。速度・持久力・生活環境は別に評価し、FACだけで外出の可否を決めない。